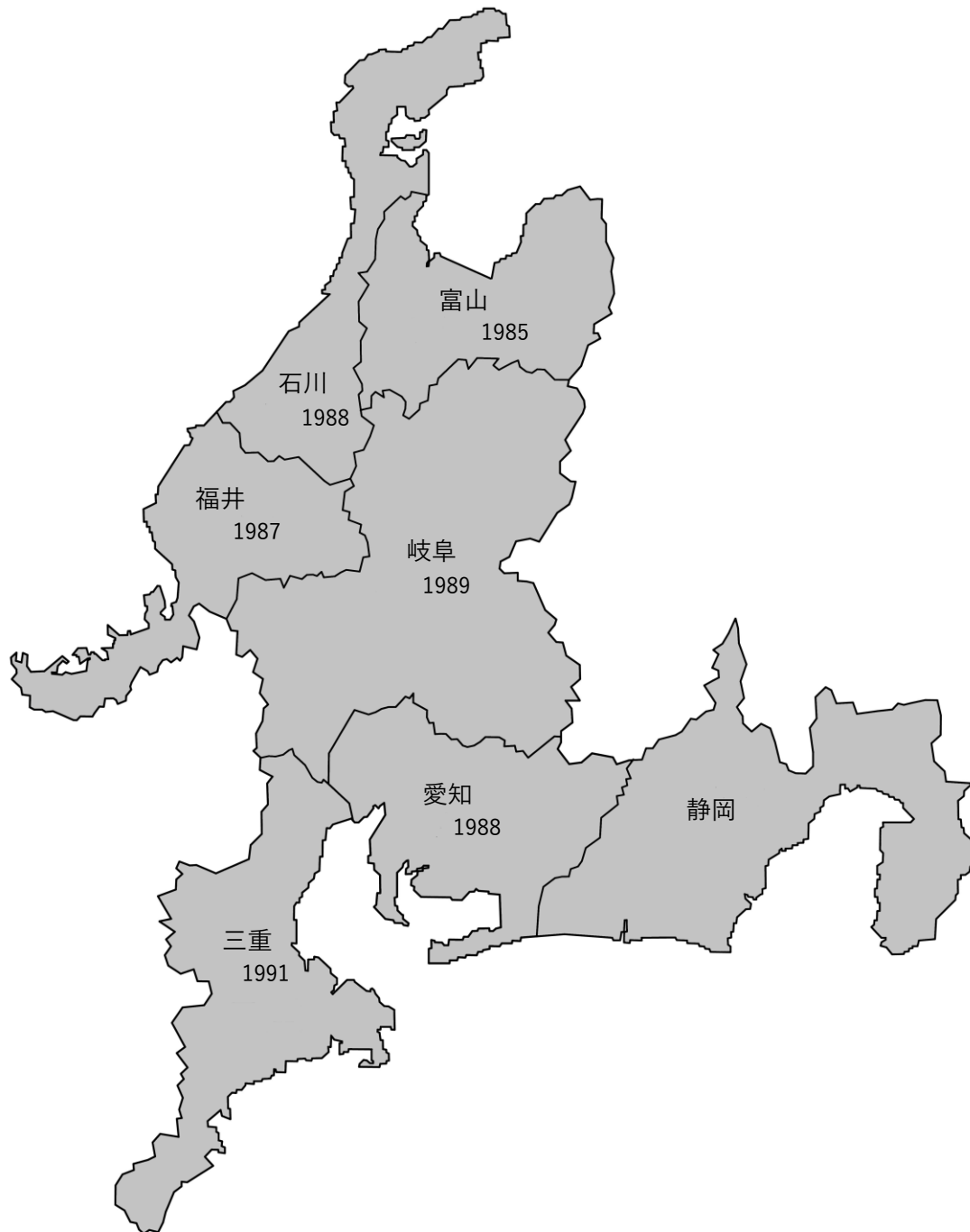


建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会

30年のあゆみ



※各県記載数字は女性部会(委員会)設置年を示す

30年のあゆみ

建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会は、平成2年に設立され本年で30周年という節目の年を迎えました。30年の歴史を紐解けば昭和63年に遡り、東海北陸ブロック会青年建築士協議会前期三重会議あたりから協議会設立の検討が始まり、平成元年3月4日後期静岡会議同日午前には東海北陸ブロック7県の女性代表者が集まり、協議会設立準備の打合せ会が開催され、平成元年度より正式に女性建築士協議会(仮称)準備会として活動を始めることが決議されました。その後平成元年度前期石川会議準備会を経て、後期岐阜会議準備会において平成2年度より正式に協議会を発足することが決議され、東海北陸ブロック会女性建築士協議会としての活動が始まりました。当初は2、3年の準備期間を以って発足と考えていましたが、平成元年10月に全国の単位士会の女性代表者が集まり全国女性建築士連絡協議会設置準備会が開催され、連合会会員小委員会の中で全国女性建築士連絡協議会が発足することになり、平成2年5月に開催されることを受けて、全国的な機運も併せて前向きに協議会の設立を進めることになり、全国に先駆けて初の協議会発足となりました。当初東海北陸ブロック7県で設立準備を進めていましたが、静岡県女性小委員会は最終的に不参加ということになり、6県で発足し現在に至っております。当時、全国で女性部会(委員会)設置県は平成元年度で14県、平成2年で24県という状況下でした。

平成2年からは富山、石川、福井、三重、岐阜、愛知の6県で協議会の活動が始まり、各県の持ち回りで毎年前期会議と後期会議(大会)を企画運営してきましたが、平成9年頃から後期会議(大会)において継続的に事業発表が行われるようになり、担当県がテーマを決めて身近な社会の課題に係る調査や地域での活動を発表したり、ワークショップ等が行われました。平成24年からは開催県が自由に企画する分科会に変わり、地域性を活かした見学会や講演会、ワークショップ等が行われており、平成2年から始まった活動も社会情勢と共に変化しながら活発に続けられ、現在に至っております。

このたび設立30周年という節目を迎えるにあたり、記念事業として記念誌の発行を行うことといたしました。平成2年度から令和元年度までの活動の記録集としてまとめたものです。

協議会の準備会設立当初から長きにわたりご協力ご支援を賜りました東海北陸ブロック会親会、青年建築士協議会に深甚なる謝意を申し上げます。そして、これまで東海北陸ブロック会女性建築士協議会を支えてくださいました女性会員の皆様に心より感謝申し上げます。

協議会では一つの節目として、30周年記念の後期愛知大会において女性建築士の社会的役割を問い直し、今後の協議会活動を考える機会にしようとしてワークショップを企画しました。建築士として取り組むべき課題を模索することで、今後東海北陸ブロック会女性建築士協議会として取り組む共通のテーマを見つけ、継続的に取り組むことを目標とし、建築士として社会に向けて新しい提言をしていきます。

東海北陸ブロック会女性建築士協議会は新たな一步を踏み出します。

祝辞

30周年記念：後期愛知大会の成功を願って

公益社団法人
日本建築士会連合会 会長
三井所 清典



東海北陸ブロック会女性建築士協議会が継続してきた30年の活動に心から敬意を表します。

その30年は昭和の時代が終わり、令和の時代が始まる間の30年で、平成の時代そのものです。30周年記念大会・後期愛知大会では、平成の時代を顧みて、これからの令和の時をどう生きるか考えようとしている。平成時代を振り返ってみると、狂ったようなバブルの絶頂期が突然崩壊し、経済不況となり、しばらく安定していた中頃にリーマンショックで打撃を受けた。終盤にはインバウンド効果で日本の歴史と文化に自信を持ち始めていた。その矢先に世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症のため多くの活動がストップし、未曾有の経済不況が予想されている。

また平成の時代は自然災害の面でも平穏とは言えず、阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災、熊本地震等震災が多く、台風による水害、土砂崩れの災害も日本の各地で起こった。建築士はそれらの復旧・復興に駆けずりまわった。災害の多い30年であった。

後期愛知大会では「これからのブロック活動を考える」をテーマに掲げ、これまでの社会貢献実践活動をまとめ、これから何をなすべきか、なにが可能か、ワークショップを通して探ろうとしている、皆が語り、皆で考えて、未来に向かうことは30周年の節目にふさわしい活動である。驚くべきことはワークショップの状況設定である。これから20年後の社会に生きる自分が、どういう社会的課題を発見し、取り組んでいるかと言う「場」の設定であり、そこにいる自分達はすべて年齢が20歳から40歳台の若くて力強く、意気盛んな女性建築士という「人物」設定である。そういう「場」と「人物」設定のうえで、様々な社会貢献実践活動をしようとするのだから、これにはおおきな興味と期待が湧いてくる。20年後の社会で若い自分が活躍する想定は不思議な心理状況が生まれ、予想を超えた成果が出る予感がする。

これに刺激されて、なんでもできると思っていた時代の自分を思いだした。そういう力と希望に満ちた自分が20年先の未来社会に生きていと想像すると愉快である。そして30年前の自分の活動を思い出してみた。まず、やきものの里、佐賀の有田での建築を通してのまちづくり活動が一段落し、他の地方に広がり始めた時期で、富山、島根、新潟、福島等の地域のまちづくりに協力し、災害復興にもつながった。また環境共生住宅推進活動に加わり、活動を始めたのが30年前で、エコハウス、自立循環型住宅、健康・省エネ住宅の推進活動に関わってきた。木造建築への取り組みも30年になる。

思えば30年は長いようで短い。こういう体験からわかったことは、社会的課題の解決は多くの個人の協働によって少しずつ進むものであり、時間もかかる。

最近WEB会議に少しずつ慣れてきた。20年後はIT化が進み、社会の仕組みやあり方がすっかり変わっているだろう。在宅ワークや在郷ワークが普通になり、懐かしく、美しい山河の里で最先端の仕事をしている姿を想像すると実に楽しい。

最後に30周年記念ワークショップの成功と女性建築士の皆さまおよび身近な人々の精神と身体の健康を心よりお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、残念ながら中止となりましたが、開催する予定だった 30 周年記念大会は以下のとおりの内容です。

建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会 令和元年度後期ブロック愛知大会 大会テーマ「これからのブロック活動を考える」

■大会趣旨■

東海北陸ブロック会女性建築士協議会では、これまでの 30 年間、社会の課題に係ることを調査し提案する事業発表や、近年は分科会において見学会や講演会を開催する等、様々なテーマに取り組んできた。現代の建築士を取り巻く社会的課題は、「空き家」「高齢者」「環境」「働き方」など多種多様であるが、30 周年記念ワークショップは、建築士として取り組むべき課題を模索することで、東海北陸ブロック会女性建築士協議会全体として取り組む共通のテーマを見つける機会とする。得られたテーマ及び課題は、今後数年において女性建築士協議会として継続的に取り組み、建築士として社会に向けて新しい提言をしていく。

■大会スケジュール■

2月22日(土)	13:30~14:00	開会式
	14:00~16:30	30周年記念ワークショップ 会場:(公社)愛知建築士会 会議室
	18:00~20:00	30周年記念懇親会 会場:しら河別邸日本料理 大森
2月23日(日)	9:00~11:30	後期定例会議 会場:KKR ホテル名古屋 「菊の間」
	11:40~12:00	閉会式
	13:30~	名古屋城本丸御殿見学

■ワークショップ課題■

20 年後に社会問題となりそうなことを挙げ、それに対して建築士としてできることは何かを考え、今後のテーマとなるキーワードを作成する。

20 年後に自分が 20 代~40 代の働き盛りと想定し、話し合いを行う。

■ワークショップスケジュール■

- 14:00 ワークショップ開始、趣旨・手順説明、コメンテーターの紹介、データの紹介
- 14:15 ①20 年後に社会的な問題となりそうなことは何か グループ内で発表
- 14:35 ②建築士としてできることは何か グループ内で話し合い
- 15:20 ③グループリーダーによる発表
- 15:50 ④コメンテーター田村哲樹先生による感想
政治学者。名古屋大学大学院法学研究科教授。政治理論、民主主義理論専攻。
- 16:05 ⑤グループ内でキーワードを絞る
- 16:25 ⑥グループリーダーによるキーワードの発表
- 16:30 ワークショップ終了

東海北陸ブロック会女性建築士協議会 30年のあゆみ

年度	運営委員長 /担当県	前期 /後期	開催県/会場(日程)[参加者数] 事業発表等：担当県/内容
1990年 平成2年	川村節子 /愛知	前期	富山/富山電気ビルディング(6/30)[27]
		後期	愛知/ホテルライオンズプラザ名古屋(3/24)[26]
1991年 平成3年		前期	福井/福井パレスホテル(7/6)
		後期	三重/伊勢国際ホテル(3/21)[26]
1992年 平成4年	藺田和江 /愛知	前期	静岡(7/4)
		後期	石川/金沢(3/20-21)自治会館
1993年 平成5年		前期	岐阜(7/10)
		後期	富山/氷見市 シーサイドホテル潮騒(3/19-20)
1994年 平成6年	田宮祥江 /愛知	前期	愛知/栄ガスビル(7/2)
		後期	福井/大野市有終会館(3/18-19) 事業発表：福井/ゴミステーション 見学：大野市まちなみ見学会
1995年 平成7年		前期	三重/桑名シティホテル(6/24)[30]
		後期	静岡/富士市ロゼシアター(3/2-3)
1996年 平成8年	伊藤京子 /愛知	前期	石川/金沢市文化ホール(6/22)
		後期	岐阜/岐阜市 岐阜観光ホテル 十八楼(3/15-16)[28]
1997年 平成9年		前期	富山/富山県女性総合センター・サンフォルテ(7/12)
		後期	愛知/愛知県女性総合センター・ウィルあいち(3/14-15) 事業発表：石川/「今 やさしい住まい造りをめざして」見学：ナゴヤドーム
1998年 平成10年	神戸幸恵 /岐阜	前期	福井/鯖江市向陽会館(6/27)
		後期	三重/伊勢シティホテル(3/20-21)[37] 講演会・見学会：三重/「伊勢河崎の町なみとおはらい町」、 おはらい町・おかげ横丁散策
1999年 平成11年		前期	静岡/アクトシティ浜松、クングレスセンター(7/3)
		後期	石川/金沢市 読売新聞会館(3/11-12) 事業発表：岐阜県/環境共生住宅「人にやさしい住まい」ホルムアルデヒド測定
2000年 平成12年	小見美由紀 /富山	前期	岐阜/岐阜市 グランヴェール岐山(6/24)
		後期	富山/ホテルニューオータニ高岡、瑞龍寺(3/10-11) [53] 事業発表：愛知/想いが未来を創る「今日の夕飯どうする？」
2001年 平成13年		前期	愛知/名古屋国際会議場(6/23) [39]
		後期	福井/武生パレスホテル(3/9-10) [47]
2002年 平成14年	小野全子 /愛知	前期	三重/アストプラザ津(6/22) [29]
		後期	静岡/静岡芸術大学、浜松名鉄ホテル(3/1-2) 事業発表：福井/理想の児童館とは
2003年 平成15年		前期	石川/金沢市 石川県立音楽堂・交流ホール(6/21) [42]
		後期	岐阜/岐阜市 グランヴェール岐山(2/28-29) [41] 事業発表：石川/じわもんめぐり(地域素材)
2004年 平成16年	渥美やす子 /三重	前期	富山/富山国際会議場大手町フォーラム(6/26)
		後期	愛知/名古屋都市センター(2/19-20) 事業発表：岐阜/建物の使い心地調査について
2005年 平成17年		前期	福井/福井市 福井県国際交流会館(8/27)
		後期	石川/金沢市観光会館(3/4-5) 事業発表：富山/空家の活用(富山型サービス事例と伝統的家屋紹介)
2006年 平成18年	脇本淳子 /福井	前期	静岡/静岡コンベンションアーツセンター(6/24)
		後期	三重/四日市市 三重北勢地域産業振興センター(3/3-4) ワークショップ：愛知/コミュニティと環境を配慮した外部空間づくり

2007年 平成19年	脇本淳子 /福井	前期	岐阜/岐阜市 岐阜県民文化ホール・未来会館(6/23)[29]
		後期	富山/富山市 富山県民共生センター・サンフォルテ(2/23-24) 事業発表：福井/県内カフェのバリアフリー調査、マップ化して地域に配布 講演：伊東順二氏(富山大学教授)「ものづくりのエッセンス」
2008年 平成20年	西田真紀子 /石川	前期	愛知/名古屋市 中部電力名古屋支店(6/28)[54]
		後期	静岡/掛川市 ヤマハリゾートつま恋[32] 事業発表：三重/事業発表：三重/「モノモノ=みんなのトイレ=づくり ワークショップ」
2009年 平成21年		前期	三重/桑名市 六華苑(6/27)[46] 20周年記念見学会・懇親会
		後期	福井/小浜市中央公民館(2/27-28) 事業発表：石川/子育て世代に視点をおいたバリアフリー研究(5歳児の目線) 若狭塗箸専門店(研磨体験)、萬徳寺見学
2010年 平成22年	河内美代子 /岐阜	前期	石川/金沢市 石川四高記念文化交流館(6/26)
		後期	岐阜/高山市 高山グリーンホテル(2/26-27) 事業発表：岐阜/講演：高山市誰にもやさしいまちづくり、ユニバーサルデザ インの取り組み事例の紹介と見学
2011年 平成23年		前期	富山/高岡市 ウイング・ウイング高岡(6/25)
		後期	三重/鈴鹿サーキット(2/25-26) 事業発表：富山/住まいと構造&東北視察ボランティア報告
2012年 平成24年	山中路代 /富山	前期	福井/AOSSA 福井市地域交流プラザ605会議室(6/23)[21]
		後期	愛知/名鉄犬山ホテル(2/16-17)[45] 見学・講演会：愛知/歴史から学ぶ-文化の継承 有楽苑見学、講演：西澤泰 彦氏(名古屋大学准教授)「歴史的建造物から学ぶこと」、明治村見学
2013年 平成25年		前期	富山/高岡市 北陸予防医学協会 高岡総合検診センター(6/8)[24]
		後期	石川/加賀市 山代温泉ゆのくに天祥(3/1-2)[62] ワークショップ：福井/継承～伝統的な建築素材に触れることで得られる子供 たちの気づき～(木のカレンダー製作)
2014年 平成26年	筒井裕子 /愛知	前期	岐阜/岐阜市 長良川うかいミュージアム(6/21)[30]
		後期	富山/砺波平安閣(3/14-15)[71] 見学・講演会：富山/素材から見る伝統技術と最新技術 新光硝子、入道家見学、講演：蜂谷俊雄氏(金沢工業大学教授)「時をこえ酔い しれる空間」若鶴大正蔵見学
2015年 平成27年		前期	三重/伊勢市 日の出旅館(6/20)[29]
		後期	愛知/名古屋都市センター(2/20-21)[57] 見学・講演会：愛知/すまいの未来を紡ぐ～モノからコトへ～ 講演：三浦展氏「つながりを生み出す家と街～「第四の消費」時代から考える ～」トヨタ産業技術記念館見学
2016年 平成28年	吉田輝代美 /福井	前期	愛知/名古屋市 愛知建築士会会議室(6/25)[31]
		後期	福井/敦賀きらめきみなと館(2/25-26)[36] 見学会：福井/「VIVO」～命・くらし・エネルギー～ 日本原子力発電(株)敦賀発電所、みなとつるが山車会館、敦賀市立博物館、敦賀 ムゼウム、敦賀赤レンガ倉庫見学
2017年 平成29年		前期	石川/金沢市 石川県立美術館広坂別館(6/24)[39]
		後期	岐阜/岐阜市 十八楼(2/24-25)[44] 見学・講演会：岐阜/「温故知新」今の自分を知る、そして新しい自分へ ガイドブック作成について、まち歩き：県都「岐阜城下町をめぐるたび」 講演：竹内靖子氏「心地いい暮らし」ぎふメディアコスモス見学
2018年 平成30年	大森尚子 /三重	前期	富山/富山市 ポルファートとやま(6/23)[39]
		後期	三重/亀山市文化会館(2/23-24)[37] 見学・講演会：三重/まちなみ・保存と活用～三つの「繋がり」が重なる三重～ 関宿自由散策、関中学校見学、講演：中浦豊子氏(亀山文化資産研究会活動報告)
2019年 令和元年		前期	福井/福井市 福井県国際交流会館(6/22)[25]
		後期	愛知/名古屋市 愛知建築士会会議室(2/22-23) [コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止] 30周年記念ワークショップ：愛知/これからのブロック活動を考える 30周年記念懇親会、名古屋城本丸御殿見学

岐阜県 ブロック活動写真



1. 平成5年前期会議



5. 平成19年前期(岐阜市)会議



2. 平成12年前期(岐阜市)会議



6. 平成22年後期(高山市) 街歩き



3. 平成15年後期(岐阜市)



7. 平成26年前期 長良川うかいミュージアム



4. 平成16年後期愛知大会 岐阜県の事業発表



8. 平成29年後期(岐阜市) ぎふメディアコスモスでの講演会

石川県 ブロック活動写真



1. 平成15年後期 岐阜大会事業発表



5. 平成22年前期 石川会議交流会 松涛庵



2. 平成15年後期 事業発表（じわもんめぐり）



6. 平成25年後期 石川大会懇親会



3. 平成17年後期 石川大会全体会



7. 平成29年前期 石川会議集合写真



4. 平成22年前期 石川会議いのき迎賓館見学



8. 平成29年前期 県文化財保存修復工房の見学

三重県 ブロック活動写真



1. 平成10年後期会議 伊勢シティホテル



5. 平成23年後期会議 鈴鹿サーキット



2. 平成18年後期 三重北勢地域産業振興センター



6. 平成27年前期(伊勢市) 日の出旅館



3. 平成21年前期(桑名市)会議 六華苑



7. 平成27年前期(伊勢市)会議 日の出旅館



4. 平成23年後期 鈴鹿サーキット



8. 平成30年後期(亀山市) 関中学校

富山県 ブロック活動写真



1. 平成9年前期 富山県女性総合センター・サンフォルテ



5. 平成23年後期三重大会 富山県の事業発表



2. 平成12年後期 ホテルニューオータニ高岡



6. 平成25年前期 金屋町まち並み見学



3. 平成16年前期 富山県国際会議場大手町フォーラム



7. 平成26年後期 砺波平安閣



4. 平成19年後期(富山市) 福井県の事業発表



8. 平成30年前期 富山県美術館

福井県 ブロック活動写真



1. 平成6年後期(大野市) 有終会館



5. 平成25年後期石川大会 ゆのくに天祥 福井県の事業発表



2. 平成17年前期(福井市) 国際交流会館



6. 平成28年後期(敦賀市) 気比神社



3. 平成21年後期(小浜市) 中央公民館



7. 令和元年前期(福井市) 国際交流会館



4. 平成24年前期(福井市) AOSSA



8. 令和元年前期(福井市) 養浩館庭園

愛知県 ブロック活動写真



1. 平成13年前期 名古屋国際会議場



5. 平成20年前期 中部電力名古屋支店 第2分科会



2. 平成14年後期静岡大会(愛知運営) 浜松名鉄ホテル



6. 平成24年後期(犬山市) 有楽苑



3. 平成16年後期 名古屋都市センター 小泉和子さんと



7. 平成27年後期 名古屋都市センター 素材展示



4. 平成18年後期三重大会 糟谷護さんとワークショップ



8. 平成28年前期 名古屋テレビ塔見学



令和元年度後期愛知大会 会議資料



令和元年度後期愛知大会 配布お菓子等

編集後記

30周年記念事業は、記念誌発行の他に令和2年2月22日(土)23日(日)、30周年記念愛知大会において記念ワークショップと懇親会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて残念ながら中止となりました。「これからのブロック活動を考える」をテーマに建築士の社会的役割を問い直し、今後の方向性をみんなで考えるというワークショップを準備していましたが、名古屋大学の田村先生にコメンテーターをお願いし、ご意見をいただきながら、内容について愛知のメンバーで打合せ、リハーサルを重ね準備しました。開催2日前というタイミングでの中止の決定は、当時は残念な気持ちでいっぱいでしたが、その後の世の中の状況を振り返ってみると、あの時の中止の判断は正しかったと感じています。

あれから4か月余りが過ぎて、少しずつ日常が戻ってきましたが、いまだに各地で感染者が確認されており、安心できない状況は続いています。一日も早く感染者が減り、また東海北陸ブロックの皆様にお会いしたいと思っています。

今回の記念誌制作にあたり、各県の皆様には古い資料や写真を探して沢山の情報提供をいただきました。私たちにとっても、過去を振り返り、整理するよい機会をいただいたと思っています。懇親会とワークショップは開催できませんでしたが、これまでの30年、東海北陸ブロックの女性で培ってきた各県の皆様との絆を強く感じる30周年となった気がします。本当にありがとうございました。

最後に30周年記念事業の開催のために多大なるご尽力をいただいた関係者の皆様、準備を重ねてくださった皆様に深く感謝いたします。10年後も20年後も建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会の活発な活動が続くことを願います。

2020年6月15日

(公社)愛知建築士会 女性委員会

建築士会 東海北陸ブロック会 女性建築士協議会 30年のあゆみ

発行日：2020年7月1日

発行：建築士会 東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

編集：(公社)愛知建築士会 女性委員会

池田園子・池沼靖子・杉原尚子・筒井裕子・深見清佳

